

新潟水俣病地域福祉推進条例

「県の基本的施策」に基づく取組について

～ 平成 21 年度実績、平成 22 年度の実施状況 ～

〈 第 5 条 県の基本的施策 〉

1 新潟水俣病患者への保健・福祉対策

新潟水俣病患者の福祉の増進を図るため、療養等による経済的負担の軽減を目的とした手当の支給や、患者の心身の状況等に応じた保健や福祉に関する取組を行う。

2 地域社会の再生・融和の促進

新潟水俣病によって人々の絆に深刻な影響を受けた地域社会の再生と融和が図られるよう、新潟水俣病の被害者を含めた地域住民の交流を促進する取組を行う。

3 教育・啓発の推進

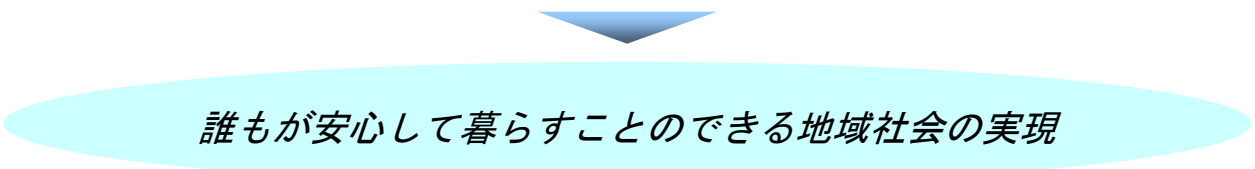
県民が、新潟水俣病についての正しい理解を深め、新潟水俣病の歴史と教訓を将来に伝えることができるよう、新潟水俣病に関する教育の推進や啓発活動の充実などを行う。

4 民間団体等の活動の促進

民間団体等が自発的に行う新潟水俣病の歴史と教訓を伝える活動や、新潟水俣病により生じた問題の解決のための活動が促進されるように努める。

5 ふれあい館の活用と情報発信

教育の推進や啓発活動の充実、民間団体等の活動を促進するため、新潟県立環境と人間のふれあい館（以下、「ふれあい館」という）を活用した新潟水俣病に関する情報の発信や提供を行う。



誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現

1 新潟水俣病患者の保健・福祉対策

■訪問保健指導事業

新潟水俣病患者の健康不安等を解消するため、保健師等が患者の家庭を訪問し、健康管理指導等を実施します。

- 認定患者に対しては、県の保健師が実施
- 医療手帳、保健手帳、被害者手帳所持者に対しては、五泉市、阿賀野市、阿賀町の保健師が実施（県から委託）
- ※新潟市の認定患者・手帳所持者については、新潟市の保健師等が実施

【H21年度】

- 訪問件数：108件（H20年度：83件）

【H22年度】

- 訪問件数：今後訪問の予定

■相談窓口体制整備事業

新潟水俣病発生地域に居住する住民の健康不安や水俣病諸制度の案内・受付を始めとした幅広い相談等に応じるため、総合的な相談窓口を設置します。

- 五泉市、阿賀野市、阿賀町の各市役所・町役場の本所及び支所に年間を通じて相談窓口を設置（県から委託）
- 設置数：計10か所
- ※新潟市は保健所のほか、各区役所、地域保健福祉センターに設置〔計18か所〕

【H21年度】

- 相談件数：273件

【H22年度】

- 相談件数：419件（10月末現在）
- 主な相談内容
 - ・「新潟水俣病福祉手当」や「特措法に係る給付の申請」、その他公健法に基づく「認定申請」など、水俣病に関する各種制度の申請に関すること
 - ・水俣病関係の各種手帳の利用に関すること
 - ・しびれやふるえ、その他健康不安に関すること

■介護予防在宅支援事業

新潟水俣病患者の生活の質の向上のため、平成 21 年度に作成の患者が抱えている症状の緩和方法等についてのハンドブック及び保健・医療・福祉専門職用ガイドブックをもとに、保健・福祉関係者等への研修会を開催します。

【H21年度】

- 新潟水俣病患者50名に聞き取り調査を実施
- 聞き取り調査の結果をもとに、ハンドブックを作成
 - ※新潟市と共同で、新潟大学医学部保健学科に委託して実施

【H22年度】

- H21 年度に作成したハンドブックを被害者の方々、関係者、流域市町等に配付
- 流域の保健・医療・福祉関係者への研修会を開催予定
 - ・開催予定日：12月14日（会場：五泉市）、12月20日（会場：阿賀野市）

■水俣病研究委託事業

水俣病に関する研究成果の蓄積が、水俣病の検査や診断等に資することを目的として、水俣病に関する調査研究を新潟大学に委託します。

- 同研究は、新潟水俣病の症状が多岐にわたることから、各科ごとに研究課題を設定し実施
- 実際の検査や診断に反映させていくためには、長年にわたり研究成果を蓄積していくことが重要

【H21年度】

- 新潟大学医学部神経内科、眼科、耳鼻咽喉科で実施

【H22年度】

- 新潟大学医学部神経内科、眼科、耳鼻咽喉科で実施

■新潟水俣病福祉手当

新潟水俣病患者の療養及び健康管理等に係る経済的負担の軽減を図るため、新潟水俣病福祉手当を支給します。

- 支給対象者：新潟水俣病患者
 - ・新潟水俣病の原因であるメチル水銀が蓄積した阿賀野川の魚介類を摂取したことにより通常のレベルを超えるメチル水銀にばく露した者であって水俣病の症状を有する者（条例第2条）
 - ※公健法により水俣病の認定を受けた者を除く
- 支給額：月額 7,000 円

※新潟市居住者分については、新潟市が費用の1/2を負担

○支給月：2月、6月、10月（末日支給）

○支給開始月：申請日の翌月分から支給（H21年4月から受付開始）

【H21年度】

○支給対象者数：788名（H22年3月末現在）

【H22年度】

○支給対象者数：857名（H22年10月末現在）

2 地域社会の再生・融和の促進

■阿賀野川流域地域フィールドミュージアム（FM）事業

阿賀野川流域の各地域がかつて発生した新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、新潟水俣病の教訓を伝える環境学習や、光と影をテーマとしたイベント、地域の人々との話し合いなど、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指した様々なプロジェクトを展開します。

《環境学習分野》

○今日にも通じる新潟水俣病の教訓をこれからの時代に活かすことを目指した『阿賀野川え〜とこだ！環境学習』を構築

【H21年度】

○阿賀野川流域の環境の専門家や NPO などが参加した「環境理念ワーキングチーム」において議論を重ね、環境学習の「基本理念」の原案を策定

○明治期に鉱山業で繁栄するとともに煙害など公害の兆しも現れた「草倉銅山」を舞台とした環境学習プログラムの策定に着手

【H22年度】

○環境学習「基本理念」の完成予定

- ・基本理念の原案について、ロバダンなどを通じ流域の様々な意見を聴取中
- ・聴取した意見に基づき、年度内に基本理念の完成予定

○環境学習プログラム試行版の実施

- ・「新潟水俣病スタディツアー」で鹿瀬地域を舞台とした環境学習プログラムの試行版を実施
- ・公害問題と地域の再生を学ぶため、県外から多くの大学生や教員が来訪
- ・開催日：8月6日、参加者：43名

○環境学習プログラムの試行版を基に、今後、プログラムを2本程度（草倉銅山関係、新潟水俣病関係）策定する予定

《イベント分野》

- 地域住民と共に、阿賀野川の歴史・生活・文化の光と影を発掘し学習する講座やパネル展等の開催

【H21年度】

- 「草倉銅山の光と影を辿る環境学習ツアー」を開催
 - ・主に地元阿賀町の方々を中心に、紙芝居「草倉銅山物語」や草倉銅山のパネルを見学した後、実際に草倉銅山跡など現地を巡る
 - ・開催日：10月25日、参加者：約35名
- パネル巡回展「草倉銅山の光と影～鉱山に魅せられた人々～」を開催
 - ・草倉銅山の繁栄と公害の兆しをテーマとしたパネルを作製
 - ・12月～3月にかけて阿賀町の旅館・ホテルの5会場等を巡回
- 第2回地域再発見講座「ハーモニカ長屋（昭和電工(株)鹿瀬工場社宅）から眺めた風景～鹿瀬・昭和電工・阿賀野川」を開催
 - ・当時の状況を多面的に捉え直しこれからの時代に活かせるものを学ぶ講座
 - ・ハーモニカ長屋と呼ばれた社宅で暮らしていた方をゲストに迎え、座談会形式で社宅での生活や文化などを当時の写真とともに語り合う
 - ・開催日：3月28日、会場：阿賀町、参加者：約60名

【H22年度】

- 第3回地域再発見講座「～紙芝居と昔の写真を通してよみがえる～阿賀野川の忘れられた光と影」を開催
 - ・紙芝居「阿賀野川物語」を上演し、阿賀野川の歴史をたどる中で、本当の豊かさを問い直す
 - ・写真映像「ハーモニカ長屋から眺めた風景～写真で綴る鹿瀬・昭和電工・阿賀野川～」を上映し、当時の暮らし・文化等を多面的に学ぶ講座
 - ・開催日：8月22日、会場：阿賀野市、参加者：約35名
- 第4回地域再発見講座
 - ・阿賀野市、五泉市など阿賀野川中流域の地域資源を題材に年度末に開催予定
- パネル巡回展「鹿瀬・昭和電工・阿賀野川～光と影を織りなしてきた歴史～」を開催予定
 - ・阿賀野川と生活の関わりや当時の鹿瀬の暮らし、昭和電工の繁栄と公害の発生などを内容とするパネルを作成中
 - ・12月中旬から、阿賀町のホテル・旅館等でパネル巡回展を開催予定

《情報発信分野》

- FM事業の取組を情報発信し、事業の目指す方向性を幅広く周知

【H21年度】

- 「阿賀野川え～とこだ！ブログ」の管理運営
- 「阿賀野川え～とこだより」を発行
 - ・FM事業の各種取組を幅広く発信する定期情報誌を10万部程度作成

- ・阿賀野川流域地域（新潟市、五泉市、阿賀野市及び阿賀町）の各家庭に配付するとともに、新潟水俣病患者や支援団体、図書館などの各種施設にも配付し、幅広く情報発信
- ・「創刊号」：草倉銅山を特集、1月発行
- ・「第2号」：ロバダンを特集、3月発行
- 紙芝居「阿賀野川物語」を作成
 - ・阿賀町の若い女性3人組「こっこ」が現地取材などを重ねて作成
 - ・内容は阿賀野川の歴史をたどる中で、本当の豊かさとは何かを問い直す壮大なストーリー
 - ・3月に作成後、各種イベントやロバダンの際など、流域各地で上演

【H22年度】

- 「阿賀野川え〜とこだ！ブログ」の管理運営
- 「阿賀野川え〜とこだより」を発行
 - ・FM事業の各種取組を幅広く発信する定期情報誌を10万部程度作成
 - ・阿賀野川流域地域（新潟市、阿賀野市、五泉市及び阿賀町）の各家庭に配付するとともに、新潟水俣病患者や支援団体、各種施設などにも配付し、幅広く情報発信
 - ・「第3号」：阿賀野川え〜とこだ！環境学習を特集、11月発行
 - ・「第4号」：年度内に発行予定
- 紙芝居「新潟水俣病物語（仮）」を作成中

《ロバダン！（炉端談義）》

- 地域の様々な方々との10名程度の少人数の寄り合い（ロバダン！）を流域各地で開催し、FM事業を周知するとともに流域の地域資源等の発掘や事業への参加の呼びかけを行う

【H21年度】

- 合計17回開催（上流域7回、中流域5回、下流域5回）
- 開催先での意見等
 - 〔新潟市松浜地区〕：昔は新潟水俣病について話せる雰囲気ではなかったので、今の若い人は知らない人が多い
 - 〔五泉市の農家〕：阿賀野川の恵みを受けた自慢の農産物を、いつか「阿賀野川ブランド」として売り出したい
 - 〔阿賀町鹿瀬地区〕：昔は、学校や公衆浴場など全て昭和電工が整備してくれた

【H22年度】

- 6回開催済み、今後も流域各地で開催予定
- 開催先での意見等
 - 〔環境系NPO団体〕：阿賀野川流域ほど自然が残っている川はない
 - 〔五泉・川漁関係者〕：あみ、かぎ、はえなわ等阿賀野川で様々な漁をやった

3 教育・啓発の推進

■水俣病発生地域間交流事業

水俣病の教訓を次世代に継承するため、水俣病発生地域である新潟、熊本両県の小学生が交流します。

- 水俣市の小学生との交流により水俣病や水俣市の取組等について学習
 - ・水俣市立水俣病資料館、国立水俣病情報センターなどの関連施設の見学
 - ・水俣病に関する学習発表、意見交換会の開催

【H21年度】

- 新潟の小学5年生12名（新潟市2校、胎内市1校）が熊本県水俣市を訪問
 - ・実施時期：H21年8月4日～6日
 - （参加校…新潟市立南浜小学校、新潟市立豊栄南小学校、胎内市立きのと小学校）
水俣市立水俣第二小学校、水俣市立袋小学校

【H22年度】

- 新潟の小学5年生12名（新潟市2校、五泉市1校）が熊本県水俣市を訪問
 - ・実施時期：H22年8月4日～6日
 - （参加校…新潟市立亀田小学校、新潟市立赤塚小学校、五泉市立五泉東小学校）
水俣市立水俣第一小学校、水俣市立葛渡小学校
- 参加児童の主な感想
 - ・教科書では分からなかったことが、語り部さんのお話を直接聞いて、より水俣病のことが分かった
 - ・語り部さんの話を絶対に忘れず、学校や新潟のみんなに語り部さんのつもりで伝えていきたい
 - ・胎児性の患者さんたちは、みな前向きに生きておられて見習いたいと思った

■新潟水俣病の教訓の伝承等に係る講演会開催事業

新潟水俣病の教訓を県民に広く普及啓発するため、熊本から講師を招き、講演会を開催します。

【H21年度】

- 新潟水俣病講演会「新潟水俣病の教訓を次世代に伝える」の開催
 - ・水俣市教員（竹崎永謹氏（水俣市立葛渡小学校教諭））による「水俣市における水俣病学習」についての講演
 - ・水俣市教員及び新潟県教員による水俣病についてのパネルディスカッション
 - ・開催日：11月22日、参加者数：103人

【H22年度】

- 新潟水俣病講演会「新潟水俣病の教訓を次世代に伝える」の開催
 - ・水俣市立水俣病資料館語り部（杉本肇氏）による「水俣病患者家族に生まれて」と題した講演
 - ・水俣と新潟の語り部等による「今、水俣病から子どもたちに伝えたいこと」と題したパネルディスカッション
 - ・開催日：11月6日、参加者数：84人

■教師用指導資料作成事業

新潟水俣病の教訓を、次世代を担う小・中学生に継承するため、教育関係者等で構成する検討委員会で平成21年度に作成した教師用指導資料や副教材を製本し、各小・中学校へ配付します。

【H21年度】

- H20年度に設置した教師用指導資料作成委員会において作成した指導資料素案に基づき、モデル授業を実践
- 実践結果をもとに、素案の検証を行い、指導資料をH21年度に作成

【H22年度】

- 9月に公立の小中学校、特別支援学校等など県内約800校の計約8,000学級に配付
- 10月に3か所（上越、中越、下越）で開催した「新潟水俣病講習会」の機会を活用して、指導資料集作成の意義・活用などについて、寺田喜男作成委員長から講義

■小・中学校への環境学習支援事業

子どもたちに、新潟水俣病のような悲劇を繰り返さない力や、差別・偏見をなくす力を身につけてもらうため、小・中学校が家庭や地域と連携して実施する環境学習や人権学習を支援します。

【H21年度】

- 県内10校（ほか新潟市6校）をモデル校に指定し、環境学習を実践
- モデル校

- ・県モデル校

胎内市立中条小学校、糸魚川市立上早川小学校、上越市立下黒川小学校、上越市立谷浜小学校、上越市立里公小学校、上越市立東本町小学校、上越市立春日新田小学校、妙高市立新井南小学校、五泉市立五泉南小学校、五泉市立五泉東小学校

- ・新潟市モデル校

新潟市立東山の下小学校、新潟市立赤塚小学校、新潟市立牡丹山小学校、新潟市立亀田小学校、新潟市立南浜小学校、新潟市立白新中学校

○研究成果発表会を開催：2月25日～26日

※新潟市も同様に実施。研究成果発表会は県、新潟市が合同で開催。

○平成21年度環境学習支援事業モデル校における学習テーマ

学校名	学習テーマ
胎内市立中条小学校	胎内市の自まんを見つけよう ～「地本ふれあい公園」のイバ ラトミヨ・ミズバショウ・湧水～
糸魚川市立上早川小学校	・だいすき ふるさと 上早川（1年） ・人にやさしく 自然にやさしく パートⅡ（3・4年） ・見つめよう！働くこと・学ぶこと 広げよう！私たちの夢 （5・6年） ・お年寄りとの交流（全校）
上越市立下黒川小学校	なないろ かがやき 環境調査！ 下黒川の自然に親しみ、里 山のよさを発信する。
上越市立谷浜小学校	大好き、桑取川
上越市立里公小学校	三和・水物語「水と人々の暮らし」（4年）
上越市立東本町小学校	育て・考え・伝える・食 ～「食」の安全から新潟水俣病問題 を考える～
上越市立春日新田小学校	つばさエコアクション（4年）（総合的な学習の時間） 自然と人、人と人の関係を考えよう（5年）（社会科）
妙高市立新井南小学校	川から始まる水物語 ～関川の探検～
五泉市立五泉南小学校	ふるさと五泉 水の里 「五泉の豊かな水」を素材に、地域から学び、地域に働きかけ る環境教育の実践
五泉市立五泉東小学校	守ろう！五泉の水（4年）
新潟市立東山の下小学校	通船川プロジェクト2009（5年）
新潟市立赤塚小学校	赤塚水博士になろう（4年）
新潟市立牡丹山小学校	えがこう未来の通船川
新潟市立亀田小学校	ライスワールド ～1粒のお米から始まる身近な環境～
新潟市立南浜小学校	川の環境調査を通して南浜の自然を考えよう
新潟市立白新中学校	環境破壊が招いた新潟水俣病が人々の心や地域の絆にどのよう な影響を与えたか。

※上記学習テーマを実施するにおいて必ず新潟水俣病についての学習を入れる

【H22年度】

○県内10校（ほか新潟市8校）をモデル校に指定予定

○モデル校（予定）

・県モデル校

五泉市立五泉南小学校、五泉市立五泉東小学校、南魚沼市立西五十沢
小学校、上越市立東本町小学校、上越市立春日新田小学校、上越市立
谷浜小学校、上越市立牧小学校、上越市立里公小学校、妙高市立新井
南小学校、糸魚川市立上早川小学校

・新潟市モデル校

新潟市立南浜小学校、新潟市立山の下小学校、新潟市立牡丹山小学
校、新潟市立白山小学校、新潟市立沼垂小学校、新潟市立小合東小
学校、新潟市立赤塚小学校、新潟市立白新中学校

○H23年2月に研究成果発表会を開催予定

■新潟水俣病研修事業

県民及び関係市町、その他関係者が新潟水俣病を学習する機会を確保するため、各地域で講習会を開催します。

【H21年度】

- 「新潟水俣病講習会」を開催（2会場）
 - ・講義1：「新潟水俣病について」（講師：県立環境と人間のふれあい館館長）
 - ・新潟水俣病の概要についての説明
 - ・講義2：「毛髪水銀について」

{	講師：国立水俣病総合研究センター 生化学室長 安武 章氏
---	---------------------------------

 - ・水銀と水俣病の関係や日本人と毛髪水銀についてなどについての講義
 - ・毛髪水銀値測定の実施（希望者）
 - ・開催日：11月4日（中越地域）、11月5日（上越地域）
 - ・参加者数：51人（2会場計）

【H22年度】

- 「新潟水俣病講習会」を開催（3会場）
 - ・講義1：「新潟水俣病と生命の大切さについて（新潟水俣病のあらまし）」
（講師：県立環境と人間のふれあい館館長）
 - ・新潟水俣病の概要についての説明
 - ・講義2：「新潟水俣病問題を学ぶことの意義～新潟水俣病教師用指導資料集の利用～」
（講師：上越教育大学教職大学院 特任教授 寺田喜男氏）
 - ・新潟水俣病教師用指導資料作成委員会寺田喜男委員長による、新潟水俣病学習の必要性や教師用指導資料集の活用などについての講義
 - ・開催日：10月19日（新潟市・下越地域）、10月21日（上越地域）、
10月26日（中越地域）
 - ・参加者数：222人（3会場計）

4 民間団体等の活動の促進

■新潟水俣病情報発信事業

新潟水俣病の教訓を県民に広く普及啓発するため、民間団体等が提案する新潟水俣病の教訓の情報発信を行う事業に対し、補助を実施します。

【H21年度】

- 1 団体 2 事業に補助（公募）
〔補助事業〕
- NPO関係者等を対象とした現地ツアー実施
 - ・実施時期：2月
- CSRと新潟水俣病をテーマとした「CSRパネル展と講演会」をふれあい館で開催
 - ・パネル展：2月9日～21日
 - ・講演会：2月11日

【H22年度】

- 年内に公募予定

5 ふれあい館の活用と情報発信

■ふれあい館事業

新潟水俣病の教訓を県民に広く普及啓発するため、ふれあい館において、講座や講演会、企画展示等を実施するとともに、展示パネルの整備を行います。

- ふれあい館管理運営協議会において、ふれあい館の事業の実施内容や、展示物・展示方法等について検討して実施

【H21年度】

- 入館者数：35,122人
 - ※開館からの入館者数計：322,005人
- 館内で講演会等や各種パネル展の開催：講演会等8回、パネル展5回
〔主な講演会と参加者数〕
 - ・GW企画：写真展、講演（講師：川本愛一郎氏（水俣病資料館語り部））：65人
 - ・阿賀野川哲学塾（講師：大熊孝氏（新潟大学名誉教授）他3名）：107人
 - ・開館9周年講演会（講師：伊波敏男氏（作家、ハンセン病回復者））：65人
- 語り部の講演会（ふれあい館または小中学校等に出張）の実施

- ・回数等：64回、3,237名
- 子ども向け説明パネル等を作成
 - ・大人向け中心の説明となっている新潟水俣病展示コーナーを、子どもにも分かりやすい展示に改良

【H22年度】

- 入館者数：23,055人（H22年10月末時点）
 - ※開館からの入館者数計 345,060人
 - ・昨年度同月：23,023人
- 館内で講演会等や各種パネル展の開催：講演会等8回、パネル展4回を予定
〔主な講演会と参加者数〕
 - ・GW企画 写真展、講演（講師：川崎那恵氏（大学職員、差別解消活動者））：70人
 - ・阿賀野川哲学塾（講師：大熊孝氏（新潟大学名誉教授）他4名）：97人
 - ・新潟水俣病発生公式確認45年講演会（講師：坂東克彦氏）：95人
 - ・開館10周年講演会（講師：西村幹夫氏（元朝日新聞記者））：43人
- 語り部の講演会（ふれあい館または小中学校等に出張）の実施
 - ・回数等：48回、1,673名（H22年10月末時点） ※昨年度同月：28回、872名
- 水俣病常設展示パネルの追加・更新
 - ・平成12年までとなっている水俣病常設展示パネルの水俣病年表に、平成13年以降の事項を追加・更新予定

■資料整備促進事業

貴重な新潟水俣病関連資料の散逸、劣化を防ぐため、その収集、電子化による保存、データベース化等を実施します。

- 過去の新潟水俣病裁判記録等資料の電子画像化や、データベース化を実施

【H21年度】

- 電子映像化
 - ・裁判資料（第2次訴訟関係）、近喜代一氏日記、鹿瀬工場タイムスなど
 - ・件数：5,984件

【H22年度】

- 電子映像化
 - ・裁判関係記事掲載新聞資料、鹿瀬工場タイムス、機関誌（支援団体、昭和電工関係）など
 - ・件数：6,945件（平成22年度見込み）
- データベース件数 3,078件（平成22年10月末現在）

■アーカイブ事業

新潟水俣病の教訓を環境学習等に活用するため、水俣病関連映像や資料を視聴し易く加工・編集し、新潟水俣病に関する映像を制作します。

【H21年度】

○新潟水俣病の概要アニメーションを制作

- ・平成 22 年度に発行した新潟水俣病教師用指導資料集が小学校 3 学年から指導対象としていることなどに合わせて、小学校 3 学年以上でも新潟水俣病が理解できるように、新潟水俣病アニメーションを制作

・タイトル：「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」
・対象学年：小学校 3、4 年生程度
・内 容：新潟水俣病のあらましや条例に基づいて行っている地域の絆を取り戻す様々な取組などを、ふれあい館のマスコットキャラクターと地域のお年寄りが子どもたちにも分かりやすく説明するもの

- ・アニメーションは学校の来館時において研修室で上映しているほか、2 階新潟水俣病展示コーナーにおいても上映スイッチの増設によって視聴可能とし、学校単位でない来館児童にも視聴可能とした

【H22年度】

○アニメーションの上映

- ・アニメーションを視聴した学校や来館者からは、「今年から小学校 3、4 年生にも新潟水俣病を学ばせることができる」、「大人にも理解しやすい」などの評価をいただいている

○上映回数等：11 校 357 人※研修室での上映回数（平成22年 4 月～10 月末まで）

○「新潟水俣病関係史料をたどる新潟水俣病の記録」（仮）の DVD 制作を予定